この世界の片隅に

ファンブック制作進行中!!!!!

漫画家や作家からの寄稿、
有名人・著名人のインタビューや対談、
そして、こうの史代先生を始めとする
関係者インタビュー等、
『この世界の片隅に』への愛が詰まった1冊!!

私屋カヲル　ぽんとごたんだ　大西巻一
田亀源五郎　たかの宗美　田中圭一

次ページより！

ファンブックに収録するものの中から、
本誌では先行してこちらの6名から頂いた
原稿をお届けします!!

私屋カヲル
「コミックマージナル」にて
『恋に堕ちたインキュバス』連載中
このミーティングの片隅に
2013年
片渕監督のツイッターを見ていた私は
片渕須直＠katabu
この人
できるかわからない映画のため毎月のように広島に行ってるけど
大丈夫⁉時給30円とかになってない⁉
クラウドファンディングに参加
2015年7月
西荻地域区民センター
同じく参加した後藤羽矢子先生と特典のミーティングへ行ったのです

監督が今までの調査過程と結果をスクリーンで説明してくれるんですが
…それで当時の灰ヶ峰の地形を調べたら
この方角から見た時の湾の形が
こうの先生が描いてる絵とぴったり一致するんです！
おーーっ
しかも当時の記録を調べると19年4月に呉に入港していたのはここに描いてある通り大和 愛宕 雪風 摩耶
こうの先生は…全部調べてつきとめて描いてるんです!!
おおーーっ!
おお〜〜
監督…
もう初めからこうのさんに聞いてーー!!

ぽんとごたんだ
「月刊アクション」にて
『桐谷さん ちょっそれ食うんすか!?』
連載中 ①〜②巻発売中

そして年が明け
ようやく観にいく
機会ができ
渋谷の映画館
ユーロスペースへ
あったー
はー
まよったー
まさに
この渋谷の
かたすみにだよ
友人→
アクの強い
映画の予告が
終わり
これは
もはや
映画でも
ドキュメンタリーでもない!!
じゃあ
なんなん
だよ…
いよいよ
本編上映
開始

原作に沿って
一つ一つ
大事に大事に
紡がれるストーリー
戦争という
どうしようもなく
大きなものが
振りかかってくる中
すずさんや
登場人物が
ひたむきに
毎日を生きていく
姿がとても
まぶしく映り
きっとこの作品が
映画の中で終わらず
ボクたちの今と
つながっている
からだろうなと
感じました

鑑賞後 両親の声が
聞きたくなって
気づいたら実家に
電話していました
やっぽー
この世界の片隅にて
映画観たー?
日々の気づかない
幸せを大切に
したいと思える
そんな映画でした
お疲れ
さまです
進捗どう
ですか?
担
いやぁもう
悲しくてとても
やりきれなくて
しくしく
しくしく
♪かなしくて
かなしくて
とて〜も
や〜りきれ〜れ♪
もう
コトリンゴさん
エンドレスで
リピートするの
やめて下さい
担

JASRAC申請中

歴史の日常を描くこと

大西巷一（おおにしこういち）
「月刊アクション」にて『乙女戦争 ディーヴチー・ヴァールカ』連載中。最新コミックス⑧巻5月12日発売予定。

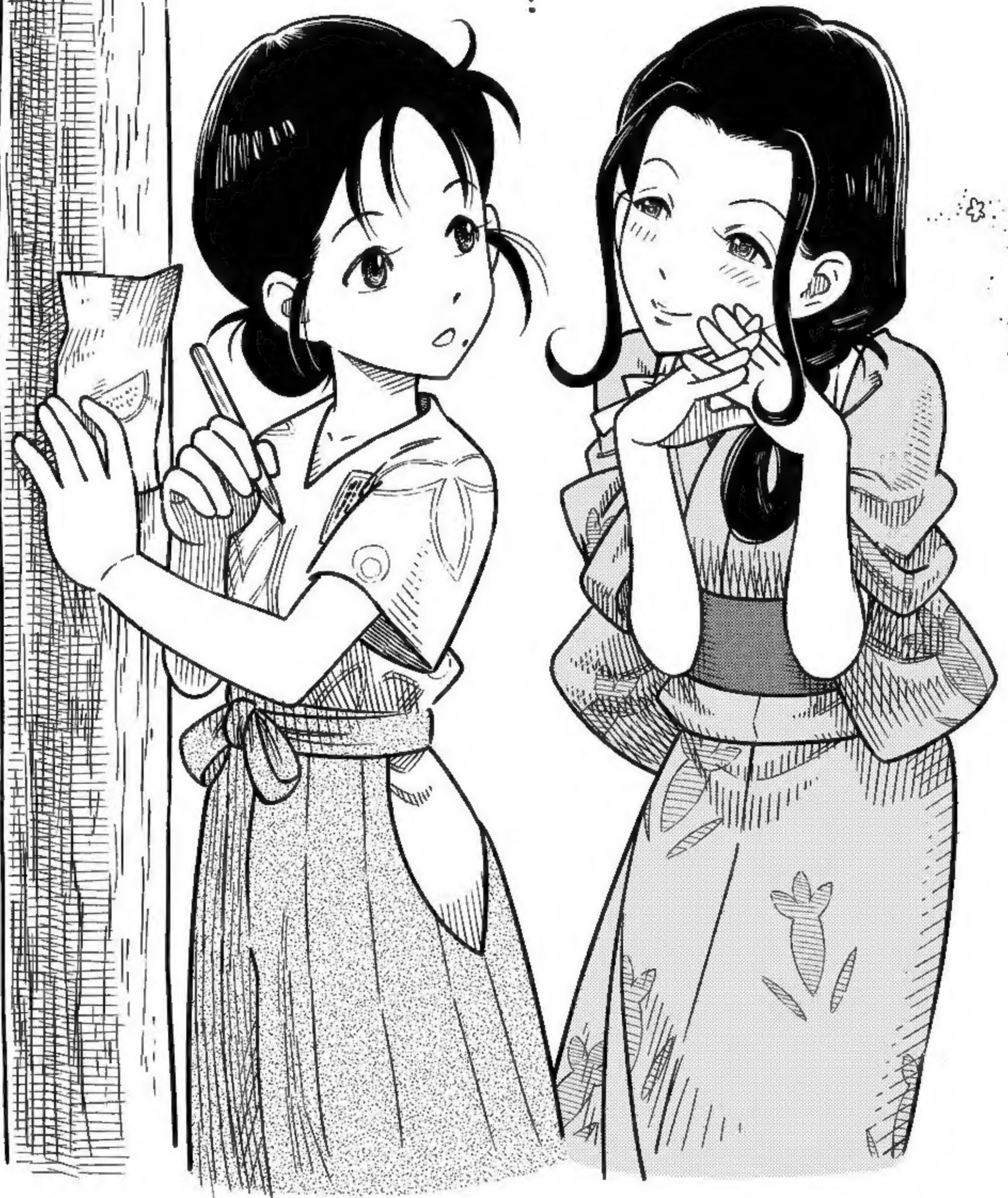
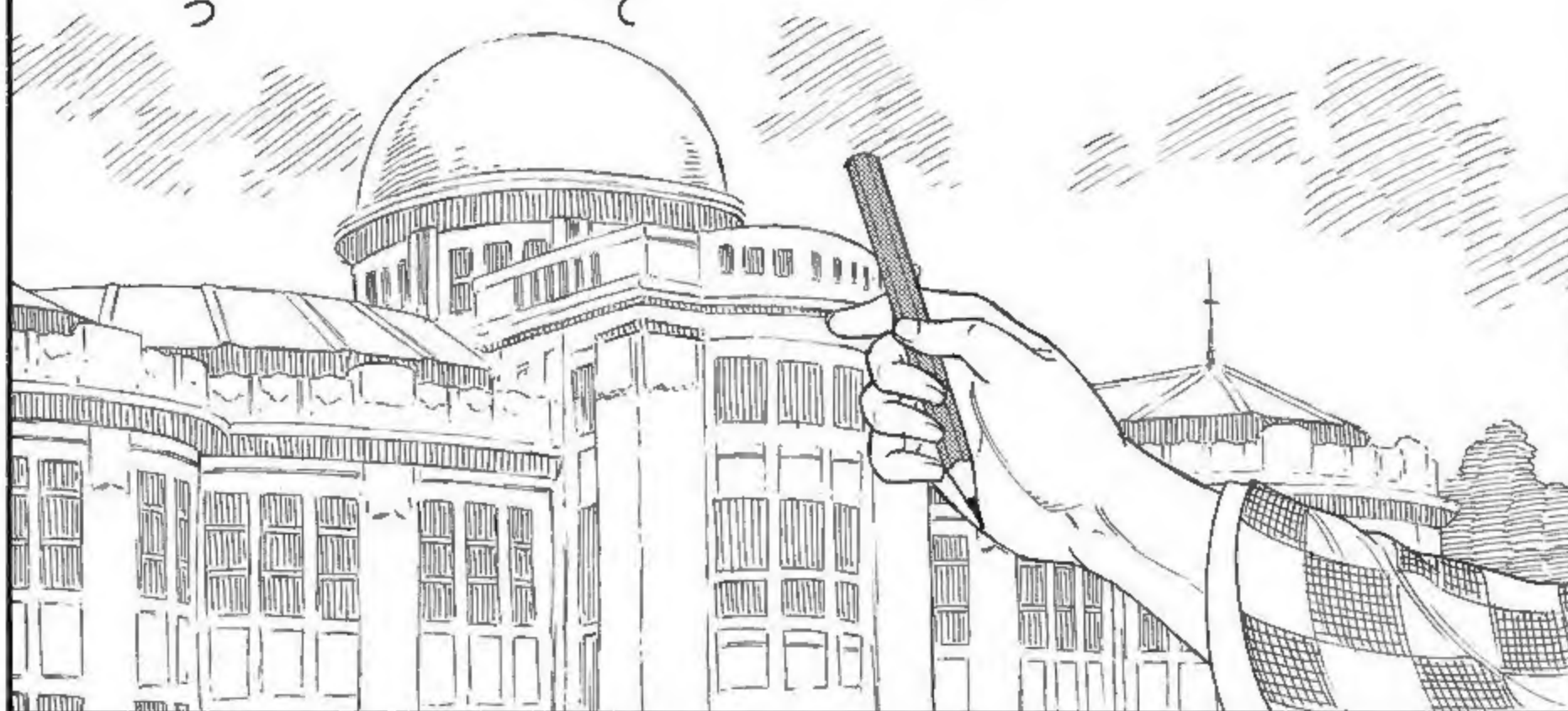
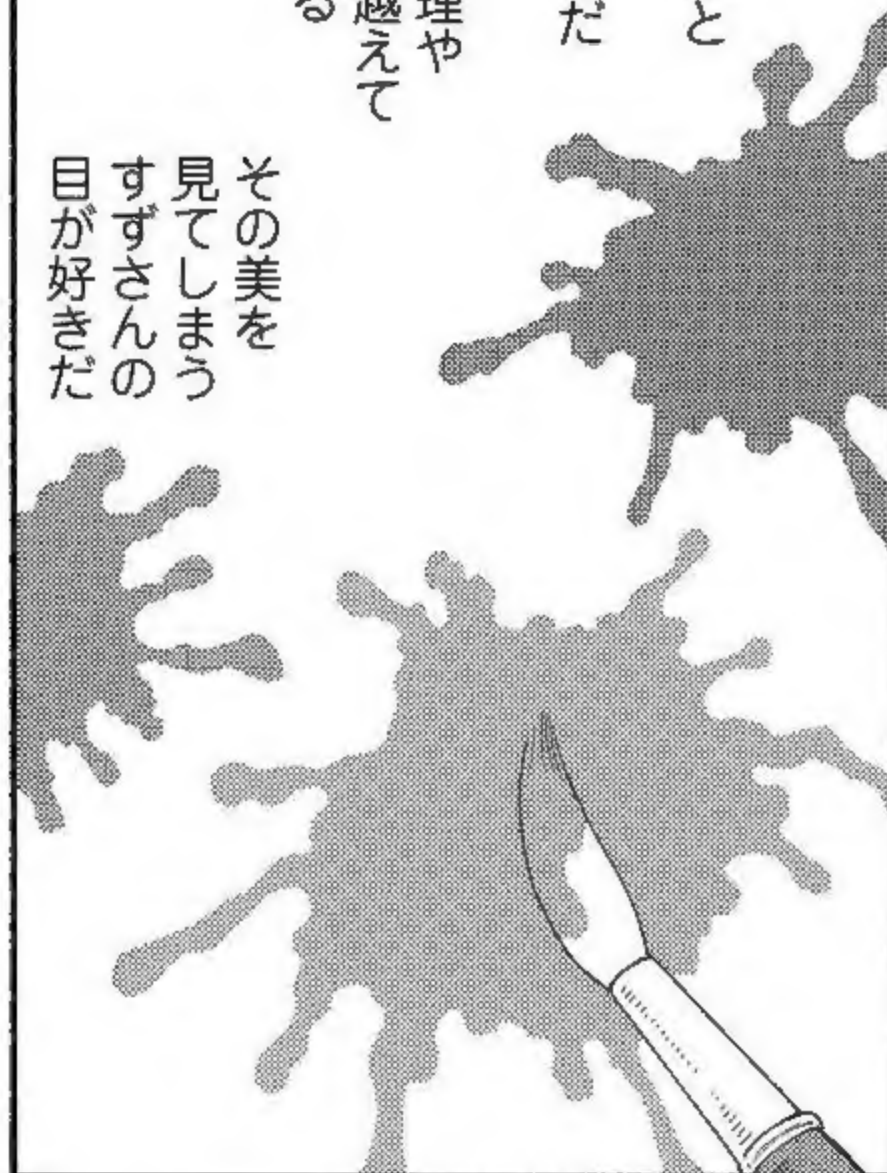
歴史物にこだわって漫画を描いてきたぼくに『この世界の片隅に』という作品は格別な衝撃と感動を与えてくれました。

「歴史」という言葉からイメージされるのは、「歴史上の人物」と「歴史的事件」という《点》の羅列でしょうか。
あるいはそれらの点を「歴史的因果関係」という《線》でつないだ流れの錯綜でしょうか。
歴史を題材にした作品の多くは、戦乱や激動の時代の英雄物語、あるいは国家の中枢に位置する人々の人間ドラマ、
あるいは歴史的偉業を成し遂げた人物の一代記といった《点》と《線》の物語です。
《点》と《線》の物語は夜空を彩る星座のように人の心を魅きつける力があるのでしょう。

しかし点と線の外にあるのは眺める価値のない暗黒の虚無ではありません。
そこにあるのは「無名の人々」が営む「日常の暮らし」という膨大な《面》の広がりと積み重ねです。
目をこらせばそこには真空の空白地帯ではなく、豊かな歴史的風景が広がっているのです。

『この世界の片隅に』という作品は、70年余り前に日本中を、いや世界中を巻き込んだ歴史的大事件ではなく、
その背後で静かに展開する歴史の風景を細やかに美しく描いてくれました。
歴史の教科書に記されることはないであろう一庶民のすずさんの平凡な暮らしぶりをこれほど魅力的に描けるなんて！
親の決めるがままに嫁ぐすずさん、楠公飯を炊いてみるすずさん、
着物をもんぺに仕立て直すすずさん、空襲に怯え敗戦に涙するすずさん…
当たり前のことに怒って当たり前のことに笑うすずさんは実に普通の人なのです。
そうした普通の人の普通の日常にこそ歴史を描くことの神髄があるように思えるのです。

ぼくは今、中世ヨーロッパの戦争を題材にした漫画を描いていて、
これはこれで題材としては面白い《点》と《線》の物語のはずだと思ってはいるのですが、
日常という歴史的風景の片隅にすずさんのような愛おしいかけらを見つけ出す、
そんな作品をいつか描いてみたいと思うのです。

すずさんとリンさんの出会いは
お気に入りの場面の一つです。
映画ではカットされたリンさんの登場シーンが
拡張版では見れることを期待してます！
あいす
くりいむ？

田亀源五郎 ｜ 「月刊アクション」にて『弟の夫』（①～③巻）連載中

ここにきて
私は
すずさんが
架空の人物だと
いうことを
自分がすっかり
忘れている
ことに気付く

・こうのさんが
産んだキャラ
＋
・片渕監督が
与えた動き
＋
・のんさんの声

ハイブリッド
生命体
「すずさん」
誕生!!

雨に濡れて
すずさんと
周作さんが
キスを交わす
場面も好き

つい自分も
ニマニマしつつ

ふと
こんなことも
思った

この時代にも
同性が好きな
人はいたん
だよなァ…

気持ちを表に
出せなかったり
祝言をあげたりは
できなくても…

『この世界の片隅に』がアニメになってくれて良かった

こうのさんのキャラのこの首の角度が好きです

好きな作品なのでそれだけで感動なのですが

一番心に残った場面は

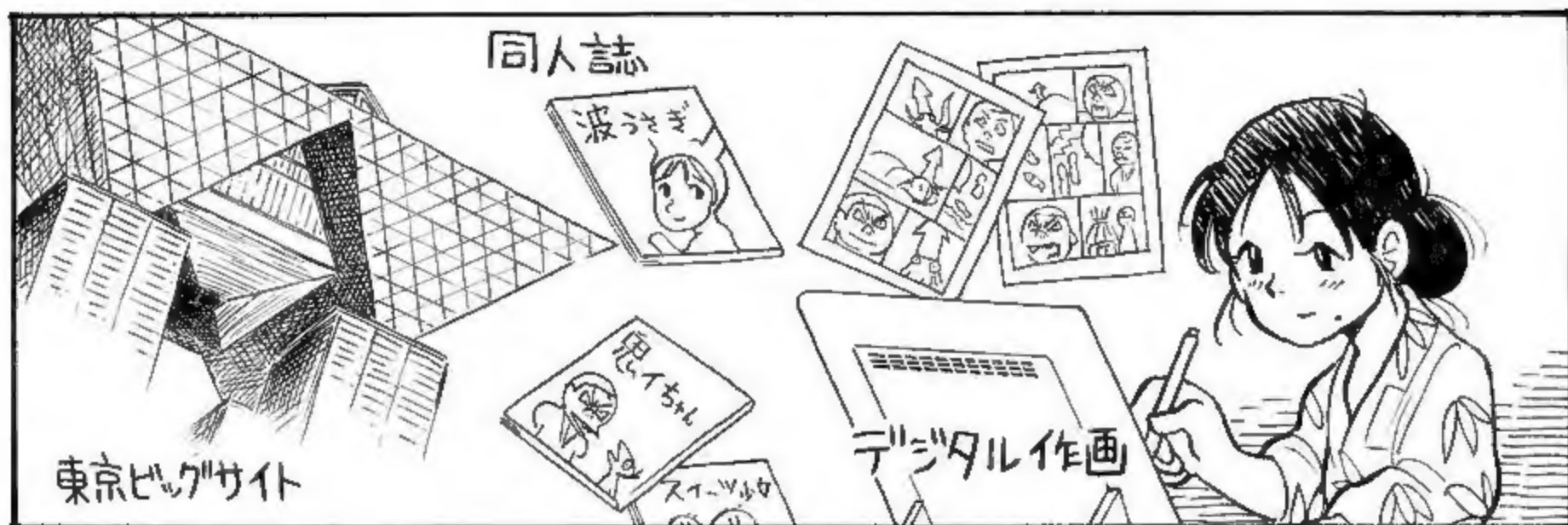
宗

「空襲」でした

亡くなった祖父から聞いた空襲の話を思い出しました
青空の向こうからアメリカ機がキラキラ輝いてキレイでなァ
爆弾落とされるのにキレイって…？
宗
とその時は思ったけどそれが祖父の記憶
食べて寝て働いてフツーに生活していたところで見た景色
この映画で初めてわかりました
時代は大変だったけど
すずさんは生きてたんですよ
現在もいいトシでどこかで生きてる気がします
宗
ところで先に観た友人知人達から
ハンカチ5枚は要るから！
宗
と言われ覚悟して行ったんですが
ハンカチ一枚の隅しか使いませんでした
どちらかというと私には心温まる映画だったんだもの
宗
おかしいのか私の感覚？
少し悩みが増えました

たなか　けいいち
田中圭一

最新刊
『うつヌケ うつトンネルを抜けた人たち』
『田中圭一の「ペンと箸」-漫画家の好物-』

未来のアレな想い出

豪華作家陣による特別寄稿は次号も掲載!!

おわり